

## 2020年度第5回中山競馬特別レース名解説

### <第1日>

#### ○ イルミネーションジャンプステークス

イルミネーション (Illumination) は、「照明」「電飾」を意味する英語。

近年ではクリスマスを彩る装飾として、全国各地でクリスマスツリーや街路樹などに電飾が施される。

#### ○ 葉牡丹賞

葉牡丹 (はぼたん) は、ヨーロッパ原産のアブラナ科の越年草。キャベツを観賞用に品種改良したものであり、冬になると中心の葉が白・黄・紫などに色付く。花言葉は「利益」「祝福」。

#### ○ 北総ステークス

北総 (ほくそう) は、旧国名である下総の別称。現在の千葉県北部および茨城県南部の地域を指す。住宅地として開発が進む一方、サツマイモや大根などの近郊農業も盛ん。

#### ○ スポーツニッポン賞ステイヤーズステークス (G II)

本競走は、昭和42年に創設された重賞競走。平地競走の中では最長の3600mで実施される。平成9年に負担重量がハンデキャップから別定に変更された。

ステイヤー (Stayer) は、「耐える者」を意味する英語。その名が示すとおり、馬にも騎手にも長丁場を耐え抜く持久力が求められる。

スポーツニッポンは、スポーツニッポン新聞社より発行されているスポーツ紙。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

### <第2日>

#### ○ 舞浜特別

舞浜 (まいはま) は、浦安市の地名。同地にある大規模リゾート施設「東京ディズニーリゾート」建設時に、アメリカ合衆国フロリダ州のディズニー・ワールドの近くにある「マイアミビーチ」にちなんで名付けられた。

#### ○ 市川ステークス

市川 (いちかわ) は、千葉県北西部の市。梨の生産や海苔の養殖が盛ん。また、江戸川を挟んで東京都と隣接し、都心へのアクセスに優れていることから、ベッドタウンとして発展している。

## ○ ラピスラズリステークス（L）

ラピスラズリ（Lapis Lazuli）は、藍青色を呈した鉱物。古代から飾り石として用いられ、12月の誕生石の1種としても知られている。主な産出地はアフガニスタンで、「瑠璃」「ラズライト」とも呼ばれる。

## <第3日>

### ○ 黒松賞

黒松（くろまつ）は、マツ科の常緑高木。樹皮は灰黒色で、亀甲状の裂け目がある。葉は2枚ずつ対に付き、針状で硬い。潮風に強いことから、防風林として用いられることが多い。

### ○ アクアラインステークス

アクアライン（Aqualine）は、海上道路と海底トンネルからなる自動車専用道路で、千葉県木更津市と神奈川県川崎市を結ぶ。平成元年に着工し、9年に開通した。海上パーキングエリア「海ほたる」では、東京湾の360°オーシャンビューやショッピングを楽しむことができる。

### ○ 師走ステークス（L）

師走（しわす）は、陰暦12月の異称。季語や時候の挨拶などに用いられる。

## <第4日>

### ○ チバテレ杯

チバテレは、千葉市中央区に本社を置く千葉テレビの愛称。昭和46年開局。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

### ○ 常総ステークス

常総（じょうそう）は、茨城県南西部の市。平成18年に水海道（みつかいどう）市が結城郡石下町を編入し、改称して現在に至る。江戸時代以降、鬼怒川の河川水運によって周辺地域の中核都市として発展した。また、旧国名の常陸国と下総国の併称としても用いられる。

### ○ カペラステークス（GⅢ）

本競走は、秋季競馬における短距離ダート競走の充実を図る観点から、平成20年に創設された重賞競走。

カペラ (Capella) は、ぎょしゃ座のアルファ星。ラテン語で「牝の仔ヤギ」を意味する。カペラ・アルデバラン・リゲル・シリウス・プロキオン・ポルックスの6つの恒星で冬のダイヤモンドを構成する。

## <第5日>

### ○ ひいらぎ賞

ひいらぎは、モクセイ科の常緑高木。葉は対生し、長楕円形で鋭い鋸歯がある。初冬になると、葉腋に白色の芳香がある花をつけ、核果は紫黒色に熟する。花言葉は「先見の明」「歓迎」。

### ○ 仲冬ステークス

仲冬（ちゅうとう）は、陰暦11月の異称。季語や時候の挨拶などに用いられる。

### ○ ターコイズステークス（GⅢ）

本競走は、古馬牝馬路線のさらなる充実を目的として、平成27年に新設された重賞競走。29年からGⅢ競走に格付けされている。

ターコイズ (Turquoise) は、12月の誕生石の1種。別名トルコ石。トルコでは産出されないが、トルコを通じてヨーロッパに輸入されたため、その名がついたと言われている。色は碧青または淡緑で、その独特な色合いから「ターコイズブルー」とも呼ばれる。

## <第6日>

### ○ 香取特別

香取（かとり）は、千葉県北東部にある市。平成18年に佐原市・小見川町・山田町・栗源町の1市3町が合併して誕生した。市内に鎮座する香取神宮は、中世以降は下総国の一宮、明治以後は官幣大社に列し、昭和に勅祭社に治定された。東国三社のひとつ。

### ○ 南総ステークス

南総（なんそう）は、旧国名である上総の別称。現在の千葉県中部一帯を指し、「南総里見八犬伝」のモデルとなった里見氏の城下町である館山市などを含む。

## ○ ディセンバーステークス（L）

ディセンバー（December）は、「12月」を意味する英語。ラテン語で「10」を意味する「Decem」が語源とされ、古代ローマで採用されていた3月起算の暦において10番目の月という意。

## <第7日>

### ○ 立志賞

立志（りっし）は、「将来の目標を定めて、これを成し遂げようとする事」を意味する。本競走は、人馬における「未来への飛躍」をイメージして名付けられた。

### ○ 農林水産省賞典中山大障害（J・GI）

本競走は、昭和9年に創設された障害重賞競走。当時中山競馬倶楽部の理事長であった肥田金一郎氏が、東京競馬場の東京優駿（日本ダービー）に匹敵する中山競馬場の名物競走とする目的で設けた。競走距離は幾度かの変更を経て、47年秋に創設時の4100mに戻された。また、平成11年に障害競走の最高峰であるJ・GIに格付けされ、負担重量も別定から定量に変更された。なお、10年までは春・秋の年2回実施されていたが、11年より春は『中山グランドジャンプ』として実施されている。

### ○ ホープフルステークス（GI）

本競走は、『ラジオ NIKKEI 杯 2歳ステークス』を前身とする重賞競走。平成26年にGIIに、29年にGIに格上げされ、2歳中距離路線の頂点を決める競走として位置づけられている。『皐月賞』と同じ舞台で実施されることから、来春のクラシック路線を占う一戦としても注目される。

ホープフル（Hopeful）は、「希望に満ちた」「望みを持つ」を意味する英語。

### ○ グレイトフルステークス

グレイトフル（Grateful）は、「感謝する」「ありがたく思う」を意味する英語。

## <第8日>

### ○ グッドラックハンデキャップ

グッドラック（Good Luck）は、「幸運」を意味する英語。「幸運を祈る」「上手くいくことを願う」という意味で、相手を励ます言葉としても用いられる。

### ○ ベストウィッシュカップ

ベストウィッシュ（Best Wishes）は、「幸福あれ」を意味する英語。また、手紙の文末で

は結びの句としても用いられる。

### ○ 2020フェアウェルステークス

フェアウェル (Farewell) は、「別れ」を意味する英語。「ごきげんよう」「さようなら」という意味で、別れ際の挨拶としても用いられる。

### ○ 有馬記念 (G I) (第65回グランプリ)

本競走は、昭和31年に創設された『中山グランプリ』を前身とする重賞競走。当時の日本中央競馬会理事長であった有馬頼寧氏が、中山競馬場新スタンド竣工を機に「東京優駿 (日本ダービー) に匹敵する大レースを」と提案し、創設された。しかし、第1回の実施から間もない翌32年1月9日に有馬氏が急逝したため、同氏の功績を称えて『有馬記念』と改称された。以来、年末の風物詩として親しまれ、幾多の名馬が名勝負を繰り広げてきた。

なお、本競走は『宝塚記念』と同様、ファン投票によって出走馬が選定される。

### ○ ハッピーエンドカップ

ハッピーエンド (Happy End) は、「幸せな結末」を意味する英語。幸せな1年の締め括りを迎えられるようにとの意味を込め、この名が冠されている。